

## 小林 JVC スポーツ少年団 九州大会への出場を決める

8月17日、小林 JVC スポーツ少年団（バレーボール）が九州大会出場を市長に報告しました。同団は、7月に行われた県スポーツ少年団中央大会で優勝し、九州大会への出場権を獲得。正覚日菜さんは「1点1点を大切に、悔いのない試合をしたいです」と話していました。



小林 JVC スポーツ少年団の皆さん。九州大会は、8月25日から27日にかけて熊本県で開催されます



陸上駅伝部と新体操部の皆さん。陸上駅伝部の中山華子さんは、熊本県で開催される全国大会に出場します

## 小林中陸上駅伝部と新体操部 九州大会で上位入賞

8月10日、小林中学校陸上駅伝部と新体操部が九州大会の結果を市長に報告しました。新体操部は団体の部で優勝、陸上駅伝部は3種目3人が出場し入賞。棒高跳びで4位入賞した陸上駅伝部の村崎竜之輔さんは「とてもいい経験ができた。今回分かった課題を今後に生かしたい」と話していました。

## 取り組みを紹介します

### きずな協働体 今月は、須木区域

#### さらなる須木の魅力拡散を目指して

昨年「須木弁（方言）カレンダー」を作成し、ご好評いただきました。来年もカレンダーを作成予定。今回は、「須木の自然・人・芸能・歴史」をテーマに、カレンダーに掲載される写真を募集していますので、ご協力をお願いします。

また、秋には企業や大学生と地元住民で行う体験型のワークショップも企画しています。須木を探索して「外からの目」

で自然や人や文化に触れ、新たな須木の魅力を発見・発信する企画です。イベントでは須木の自然や文化の写真撮影会も実施予定。SNSなどでの拡散で市内外に広く須木を知ってもらうことが目的です。「友人や恋人を誘って来てみたい」と思ってもらえるようがんばります。

「すきむらづくり協議会」のホームページも随時更新中です。『すきむら』で検索ください。



須木弁カレンダーの表紙



これからも須木の魅力を再発掘していきます！

すきむらづくり協議会  
広報部会 田原領一さん

## 東麓六月灯まつり実行委員会 九州北部豪雨の義援金を贈呈

7月26日、東麓六月灯まつり実行委員会が日本赤十字社宮崎県支部小林市地区（肥後正弘地区長）に義援金2万2704円を贈呈しました。まつりは、7月22日に野尻小で開催され、会場で北部豪雨被災者への義援金を募集。大畑孝壹委員長は、「被災された方のために活用してほしい」と話していました。



義援金を贈呈する大畑委員長（写真中）と谷口幸太郎副委員長（右）。義援金にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます

## 九州各県から17校170人 高校生の長距離合宿を実施

8月5日から8日にかけて、2017九州ジュニア長距離合宿が市と高原町で行なわれました。九州各県の高校17校の選手や監督など176人が参加。長崎商業高校2年の廣中瑠梨佳さんは「故障しないためのコンディショニングなど多くのことを学びました」と話していました。



選手らは、朝夕とひなもり台クロスカントリーコースや小林総合運動公園などで練習を行い、交流を深めていました

## 西諸支部消防操法大会を開催 市代表が3部門で優勝



ポンプ自動車の部で優勝した第1分団第5部。団員らは、3ヶ月にわたる朝夕の訓練の成果を発揮しました

7月23日、西諸支部消防操法大会が開催されました。市からは、市大会で2位までに入った3部門6部が出場。結果は、ポンプ自動車の部で第1分団第5部（小林地区）、小型ポンプの部で第7分団第5部（須木地区）、小型ポンプ積載車の部で第7分団第7部（須木地区）が優勝しました。

## 須木内山地区のPR目指して オリジナル焼酎「内山」完成



サツマイモは、市内の小中学生などの農業体験を通して栽培。地元の酒造メーカーすき酒造の協力のもとこの焼酎が完成しました

7月28日、須木内山地区の地域住民らで構成される「山びこの里実行委員会」が栽培したサツマイモを活用したオリジナル焼酎「内山」が完成しました。同委員会の上原勝会長は、「焼酎を通して、多くの人に須木内山地区を知ってもらえればうれしいです」と話していました。



## 1500匹の魚のつかみ取り開催

7月23日、魚のつかみ取り大会が八幡原市民総合センターで開催されました。小学生を対象に、ニジマス、コイ、ヤマメやチョウザメなど約1500匹をプールに放流。230人が来場し、参加者は水しぶきを上げながら魚を捕まえていました。



## テニスクリニック開催。プロの技学ぶ

7月22日、23日にダンロップ・スリクソンテニスクリニックが総合運動公園テニスコートで開催されました。プロテニスプレイヤー久見香奈恵さんを迎え、市内の小中学生ら約170人が参加。参加者は交流を深めながらプロの技を学びました。



ひきみかなえさんを迎え、市内の小中学生ら約170人が参加。参加者は交流を深めながらプロの技を学びました。

## 医療介護問題解決に向け西諸で連携

7月28日、西諸医師会本館で第4回西諸地域在宅医療介護連携推進協議会を開催しました。活動経過報告や来年4月の事業開始に向けた準備室の設置などを提案。西諸地域が一体となって医療介護連携の事業を進めることを確認しました。



## 人材育成を強化し、看護師を地元

8月8日、西諸地域看護師等養成所連絡会が開催されました。会には、西諸医師会、西諸2市1町の教育長や学校長などが出席。将来の地域医療を担う人材の育成と地元の学校への進学率向上などによる西諸地域への定着促進について意見を交わしました。



## 県内就職の出会いの場を創出

8月9日、県就職説明会をガーデンベルズ小林で開催しました。県内就職希望者と企業の出会いの場を提供することが目的で20代から30代まで22人が参加。市内企業を中心に46の企業がブースごとに、会社の説明をしていました。



## 暑い火花散らす溶接技術大会

7月29日、宮崎県溶接技術競技会小林地区大会が行われました。【以下結果（敬称略）】 ■アーク溶接の部 ▼個人・優勝…三原省一郎 ▼団体・優勝…(株)タネダ ■半自動溶接の部 ▼個人・優勝…出水孝政 ▼団体・優勝…(株)タネダ



## ご当地グルメコンテストで準優勝

8月19日、ご当地グルメコンテスト2017inまつり宮崎が宮崎市で開催されました。職員研修の一環で市若手職員が(株)APP（野元宏二代表取締役）と協働で開発した「情熱と青春のてなんどスムージー」を出品。結果は準優勝でした。



## 須木の山々に反響する打上花火

8月11日、第40回小林市すき納涼花火大会が須木中グラウンドで開催されました。市内外から約1万人が訪れ、ステージイベントや約7000発の打ち上げ花火などを実施。須木の山々に反響する花火が上がると、会場からは大きな拍手が送られました。

